



THE SEASONS

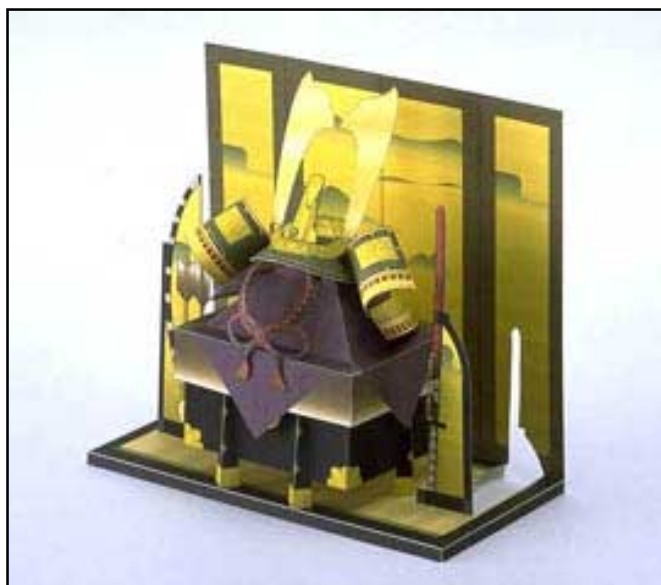


端午の節句

「兜飾り」



組立説明書



ペーパークラフト「兜飾り」をダウンロードしてくださいまして、ありがとうございます。シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「兜飾り」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・3ページ
クラフト A4シート×3 パーツ総数6

これは「兜飾り」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折り目をつけるためのもの) サインペン ピンセット 接着剤 指先をきれいにしておくおしぼりなど。

注意していただくこと

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

切り方

このペーパークラフトは、右図の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。極端に強くなぞると、紙に裂け目ができちゃうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

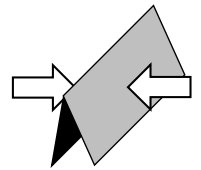
作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工用ボンドをおすすめします。

小口や折り目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作方法の表記

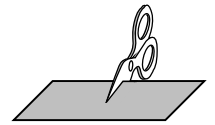
———— (実線)

この部分は山折りにしてください。



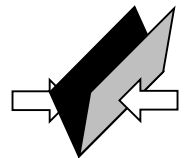
———— (白線)

このマークがついている部品には切り込みを入れてください。

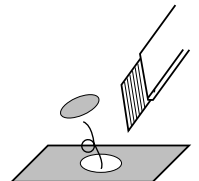


- - - - (破線)

この部分は谷折りにしてください。



このマークがある部分は切り抜いてください。



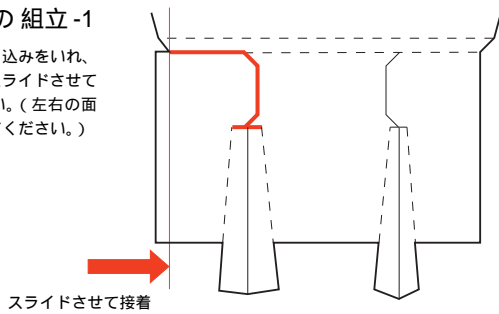
3 組立

各パーツを、組立図と工作方法を参考にして組み合わせてください。

組立図

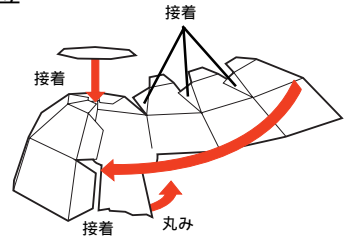
櫃（ひつ）の組立-1

太線の部分に切り込みをいれ、矢印の位置までスライドさせて接着してください。（左右の面も同様に制作してください。）



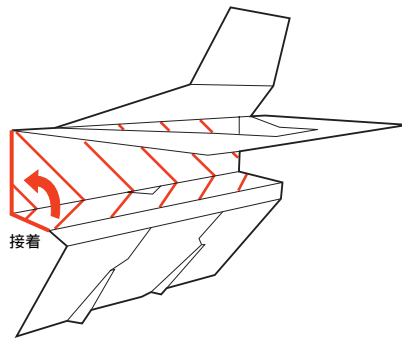
兜鉢（かぶとばち）の組立

シートに記されている工作方法に従い、七角形の兜鉢を作り最後に「結び目」の部分を外側に丸みを付けてください。



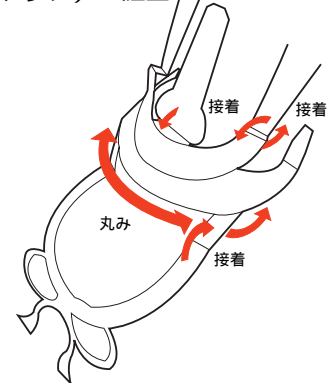
櫃（ひつ）の組立-2

太線で記してある面どうしを接着してください。（左右の面も同様に制作してください。）



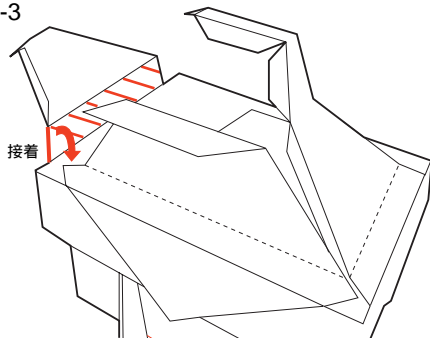
鍬形（くわがた）・龍頭（りゅうず）の組立

右図を参考に「谷折り」、「山折り」の指示に従い組み立ててください。



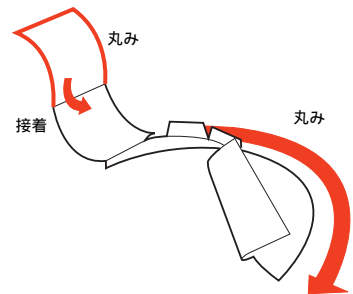
櫃（ひつ）の組立-3

太線部分の面を矢印の方向に接着してください。



鍬（しころ）の組立

丸みをつけながら太線で記してある面どうしを接着してください。（左側も同様に制作してください。）



4 完成

各部の取り付け位置などの参考にしてください。

端午の節句



端午の節句のルーツは古代中国にまでさかのぼります。中国では五月は忌月と言い、菖蒲(古名あやめ)などの薬草を採り、災厄から免れ、不浄を除くための邪気を払う日とされていました。日本では中国伝来のしきたりに加えて菖蒲が「尚武」に通じるという縁起のため、男の子中心の勇ましい行事に代わるようになり、現在のように鎧兜を飾るようになったのは、江戸時代初期に武家階級が「兜人形」を飾ったのが始まりといわれ、後に兜と人形が別々に飾られるようになりました。現在では男の子が誕生したことを喜び、健やかな成長を祝う行事として、日本の暮らしに根づいています。